



# 岡山県立岡山東商業高等学校 同窓会会報

第9号 令和4年2月15日発行

岡山県立岡山東商業高等学校同窓会  
<http://www.dosokai.ne.jp/higashisho/>  
 TEL・FAX 086-271-3636  
 デザイン・印刷 株式会社サラト  
 題字 東商12期 有瀬加子(芳心)

## 「コロナ禍にチャレンジ！吹奏楽部！」



丸2年続く「新型コロナウイルス」による高校生の部活動への影響は運動部、文化部関係なく現在でも計り知れないものがあります。特に文化部は「屋内」で行われる活動が多く、声を発する、または楽器を吹くという活動は真っ先に「制限」の対象になりました。

そんななか、岡山東商業高校吹奏楽部はこの「コロナ禍」の2年間、3年前に赴任された藤原一樹先生と部員で様々な難局に立ち向かい、常に岡山県の吹奏楽、または文化部の活動のモデルケースとなるような感染対策を徹底した「Withコロナ」での活動を率先して行ってきました。

令和3年12月25日（土）岡山シンフォニーホール。クリスマスの1日は岡山東商吹奏楽部にとって「チャレンジの集大成」と位置づける「第57回定期演奏会」を開催することができました。

前年の第56回定期演奏会は入場制限があり、たくさんのお客様へ感謝の気持ちの演奏を披露することは叶いませんでしたが、今回は「満員」となった客席に感動を覚えながら、部員たちは精一杯の演奏を披露してくれました。クラシカルステージの第一部、東商吹奏楽部定番の第二部ステージドリル、そして、この3年で大きく変化

を遂げた？（笑）ポップスステージの第三部。

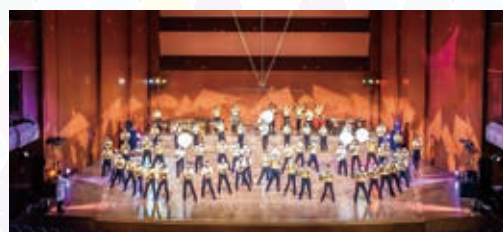
「日本を勇気づけるメドレー」では数々の名曲とともにお客様をも巻き込んで「会場一体」となった素晴らしい空間を作り上げました。部員と一緒にステージを転がりまわる^^顧問の先生に会場から「笑い」が、そして様々な演出に「どよめき」が起こったことは言うまでもありません。

前年から強化した「演出効果」もさらに進化して、新しい取り組みをどんどん行っていくところも東商吹奏楽部たる所以だと思います。聴いて頂くお客様に音楽の素晴らしさと楽しさをお届けする、とてもメリハリの利いた定期演奏会が実現できていると思います。

この素晴らしい演奏会を開催できたのも部員たちの努力はもちろん、校長先生はじめ学校関係者、地域の方々、OBや保護者といった日頃応援して下さる皆様のご理解ご協力があってこそだと思います。

進化、変貌を遂げつつある吹奏楽部の活動を紹介したいと思います。

最終面につづく→



# ご 挨拶



同窓会会長 澤根 育生

同窓会員の皆様、昨年6月に石川浩朗会長の後任として会長に就任しました東商23期 澤根育生です。どうぞよろしくお願いたします。

私事でございますが、私の家内（東商28期）長男（東商50期）と、東商高（以下母校）には大変お世話になっております。

また、卒業した小・中学校は統廃合により在校生と共に校歌斉唱する機会は失なわれましたので、最終学歴である母校への思いは近年益々強くなりました。さて、本年度もコロナ禍により学校行事・部活動など大変厳しい事態になっています。しかしそのような状況でも生徒・教職員の皆様方の懸命な努力・工夫により、東商デパートなど学校行事や地区大会・全国大会へと駒を進め、大活躍して

いる部活動とその熱意には頭の下がる思いです。

その状況下、森山校長先生より昭和38年（1963年）に建築された運動部部室の改築のご相談がありました。現場を見ましたが、なるほどこれでは母校入学希望の中学生に見せるのはためらう感があります。しかし費用は5,000万円と巨額です。

9月24日（金）常任幹事会で検討し創立130周年（現在123年目）記念事業の一環として取り組む事となりました。2万有余人の卒業生の力を結集すれば、大変ではありますが不可能では無いと思います。

また、新たに同窓会とは別組織の卒業生を中心とした事業者部会を次年度（2022年4月）より創設する予定です。事業者会員の交流・親睦・学校行事への参加支援・現役生徒との交流などをめざします。詳しくはQRコードをごらん下さい。最後に同窓生の皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念いたします。



校 長 森山 泰幸

この度、今年で創立123周年を迎えた歴史と伝統を誇る岡山県立岡山東商業高等学校の校長として勤務することとなりました森山泰幸と申します。教頭として、平成26年から3年間勤務させていただいたので、5年ぶり2回目の勤務となります。同窓会の皆様方には、本校教育の充

実発展のために、物心両面にわたり温かいご支援をいただいておりますことに対して深く感謝申し上げます。

さて、令和3年度を迎えても新型コロナウイルス感染症の収束の見通しは立たず、ウイズコロナ（コロナと共存）のもとで、授業、部活動、学校行事等について感染症対策を十分に実行しているところです。授業については、今年度入学生から一人一台端末としてiPadを導入し、校内では調べ学習やグループ学習等で活用し、家庭では予習や復習等での活用を行っています。2・3年生は、校内では貸し出し用端末、家庭ではスマートフォンを活用して同様の学習活動を行っています。また、コロナ禍でも学びを止めないために、新型コロナウイルスに関することで学校に登校できない場合や臨時休業中には、オンラインによりすべての授業を動画配信することに対応しています。部活動については、練習時間や県外チームとの練習試合等の制限はありましたが、全国大会につながる試合はほぼ予定通り実施されました。ボート部、写真部、書道部、珠算部、コンピュータ部等が全国大会へ出場しています。

学校行事については、倉敷商業高校との定期戦は中止しましたが、翠光祭（体育祭・文化祭）は保護者や地域の皆様方の観覧をご遠慮いただき、規模を縮小して行いました。また、第28回を迎えた東商デパートは岡山ドームにおいて、新型コロナウイルス感染症対策を十分行い事前の注文販売（インターネット）と当日の対面販売（注文販売の方限定）により実施いたしました。

学校施設・設備の整備状況についてお知らせいたします。ICT環境整備により生徒の情報活用能力を育成するためITデザインルーム（iMacのパソコンと3Dプリンタを設置）と、プレゼンテーションルーム（プロジェクター7台を設置）を新設しました。また、本校の特色である部活動を推進するため、昭和38年に建築された部室の改築を計画しています。改築に伴う経費について県の予算等で改築を行いたいところですが、県の財政状況では多額の予算的措置は困難であり、この度はふるさと納税制度を利用し広く募集を募り、学校を指定した寄附により実施したいと考えています。詳細は別紙をご覧ください、会員の皆様にも趣旨をご理解いただきご支援いただければ幸いです。

終わりに本校同窓会のますますのご発展と、会員の皆様方のご健勝を心よりお祈り申し上げご挨拶とさせていただきます。



## 『懐かしの恩師』を訪ねて…



商業科  
藤田 哲輔  
先生

- 生年月日：昭和16（1941）年1月7日生の80歳
- 在任期間：昭和48年4月より東商へ赴任（平成4年まで）  
平成8年に第18代校長先生として東商へ赴任  
平成13年3月をもって定年退職される
- 担当教科：商業
- 部活動：放送部

- Q:「藤田先生と言えば放送部」、「放送部といえは藤田先生」と言われるぐらい、当時顧問をされていた東商放送部の活躍が目覚ましかった記憶があります  
そうですね、当時はNHK杯全国高等学校放送コンテストで昭和58年のアナウンス部門ほか、上位入賞を何度もしてくれました。  
テレビやラジオなど番組制作などの部門も全国大会で頑張っていました。
- Q:先生は在職中に放送部のほかに印象深いことはありますか？  
実は放送部のほかに野球部の部長や柔道部もやっていたことがあります。  
昭和53年に甲子園でベスト4へ進出した時の主将・綾野君は3年間担任していました(笑)

Q:教員になられてから、東商以前のお話をお聞きしてもいいですか？

実は僕は「静岡県」で最初の教員生活をスタートしたんですよ。  
(奥様とも静岡で出会われたそうです)で、そこから岡山へ帰って東商へ19年、校長でも5年。  
教員生活の大半は東商ですね(笑)

### 【取材後記】

取材中、当時を思い起こし楽しくお話をされた藤田先生、まさに昭和の後半の東商をたくさんご存知のレジェンドで、こちらへご紹介できなかったお話も多数。  
コロナの心配がなくなり、また、同窓会総会や様々な場所で藤田先生とお会いできる日を楽しみに先生のご自宅を後にしました。

# 本校の学科とコースについて

## (1) 商業科 1年 8クラス (定員 320名)

平成11年度入学生より、くくり募集制度を導入しており、1年次は全員、基礎的な商業科目を共通に履修します。そのため、1年次は全員「商業科」となります。2年次から、一般入学者選抜の合格者は、本人の能力・適性・興味・進路等により、下記の学科・コース(類型)を選択して学習します。(特別入学者選抜の合格者は、原則として2年次より当該学科に進級します。ただし、ビジネス創造科で合格した生徒は、3つのコースから選択します。)

## (2) ビジネス創造科 2・3年 6クラス (定員 各240名)

地域経済の発展に貢献するビジネスリーダーとして必要となる基本的な能力の育成を目指します。

### ① アドバンスコース(1クラス)

商業の学びを生かし、国公立大学や難関私立大学等への進学を目指します。

### ② 会計ビジネスコース(1～2クラス)

高度な簿記会計の知識をもとに、企業の経営感覚を身に付けることを目指します。

### ③ 総合ビジネスコース(3～4クラス)

起業や地域と連携した取り組みで、起業意識を持ち、社会課題を解決したい生徒が学びます。

#### 【起業・継業類型について】

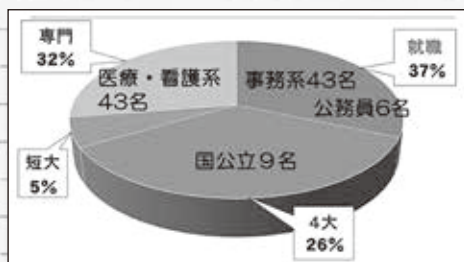
3年次に「商品開発と流通」「観光ビジネス」の両方を選択した生徒が対象です。地元商店街や起業と連携した取り組みなど体験的な授業が多く、ビジネスにおける実務的な能力やビジネスプラン能力を養うことを目指します。

## (3) 情報ビジネス科 2・3年 2クラス (定員 各80名)

最新の情報機器を活用した実習により、プログラミングやネットワークに関するコンピュータの専門知識や技術を習得します。企業活動のIT化に対応できる能力を身に付け、職場での情報化を推進するリーダーとして活躍できるスペシャリストを目指します。

## 令和2年度卒業生進路状況

就職 36.9% 進学 63.1%



令和2年の就職状況は上記のとおりです。新型コロナウイルスの感染拡大の影響で本校への求人票数は23%減でしたが、生徒が希望する企業への受験はほぼ行うことができました。進学は例年通り65%程度で推移しています。高学歴志向で四年制大学への進学が80名程度、資格取得志向で専門学校への進学も100名程度となりました。国公立大学の合格者は9名で、昨年度は大学入学共通テストを受験した生徒は10名でした。

## オープン スクール

夏休みに実施した第1回オープンスクールは、【午前の部】【午後の部】の2回に分け、学校紹介・体験講座(簿記、情報処理、マーケティング)の内容です。参加した約700名の中学生へは、学科・コース説明、進学や就職に関する進路情報、在校生が



主体となって行う体験講座とおして直接話をする機会も設けています。生の情報を体験から得ることができ学校選びの判断材料となる大きな行事の一つです。

第2回オープンスクールは、部活動体験です。

当初予定していた9月が緊急事態措置中ということで、10月の2日間に分け土曜日に実施し約200名の参加がありました。

## 第28回東商デパート

取締役社長 前田 杏樹

今年の東商デパートはネット予約販売と対面販売の初のハイブリッド方式での販売でした。

新型コロナウイルスの影響で規模は縮小していますが、岡山ドームを全面使い店舗どうしの距離を取った安心してお買い物ができる環境だったと思います。

大きな声を出すことを控えていたので例年に比べて静かな印象でしたが、普段学んでいる商業の知識やビジネスマナーを、デパートという場で発揮できました。

大きなトラブルもなく、開催することができ、嬉しく思っています。



## 倉商定期戦 — コロナ対応により中止 —

昨年度に引き続き新型コロナウイルスの感染拡大が収まらず中止となりました。伝統ある定期戦を途切らせまいと生徒は春先から応援練習など様々な準備をしてきましたが残念な結果となりました。今年度は開催に向け一から始めるつもりで第69回を迎えたいと思います。

## 翠光祭(体育の部)

コロナ禍で午前のみでしたが、多くの方々の協力のもと開催することができました。密を避けるため、応援は櫓(スタンド)を建てず、プログラムの縮小や変更をして実施しました。目玉のひとつである「応援合戦」では、各チーム練習の成果を出し華やかに披露しました。また、今年は定期戦中止によりできなかった「桃太郎」と「パラ銀」を体育の部の最後全校生徒が急遽踊ることとなり、東商がひとつになった瞬間でした。来年も笑顔があふれる体育の部を、今年以上に盛り上げていきます。



## 翠光祭(文化の部)

一年ぶりの翠光祭文化の部が、9月28日から9月29日の二日間で行われました。例年通りの形では開催はできず密を避けるために各クラス、オンライン(Zoom)での視聴となりました。Zoomならではの楽しみ方をそれぞれが見つけ素晴らしい文化の部を作り上げることができました。普段は見られない各文化部の素敵な展示や迫力のあるステージ、ステージ係による編集の凝った個性あふれる作品を見ることができ思い出に残るものとなりました。



## 「コロナ禍」における部活動…文化部

長らくコロナ禍で十分な練習もできない状況の中で「諦めず・くじけず」ひたすらにコツコツと大会に向かって練習に励んできた、各部の活動を紹介します。

### 吹奏楽部 「第57回定期演奏会を終えて」

私たち東商吹奏楽部は12月25日に岡山シンフォニーホールで第57回定期演奏会を行いました。

コロナ禍の中でもたくさんのお客様にご来場頂き、私たちにとって思い出に残るステージとなりました。

今年も新型コロナウイルスの影響により限られた練習時間と厳しい環境の中での活動となりましたが、それ以上に部員のみんなと同じ時間を共有し、共に音楽を作り上げること、音楽に向き合うこと、そしてお客様に私たちの音楽を直接届けられることの幸せを実感することができ、音楽の素晴らしさを感じることができました。これからも東商吹奏楽部の応援よろしくお願い致します。



令和3年度吹奏楽部部長 杉谷 海紀 (73期)

### 演劇部 岡山県大会 3年ぶりの最優秀賞(第1位)受賞 岡山県代表として中国大会へ出場

コロナに悩まされながら懸命に活動してきた2年間。厳しい状況の中で大会を開催できたことに感謝しています。

先生方や保護者のご協力とご理解があって、私達は舞台上に立てているとしみじみ感じています。有り難うございます。

今回の台本は『日の丸水産〜ヒミコ、日野家を語る〜』東日本大震災を描いた作品です。大変だったのはその台詞量。

一対一の応酬はもちろん、1ページを優に超える長台詞は未だに完璧とは言い難い。一人二役の演じ分けも必要。

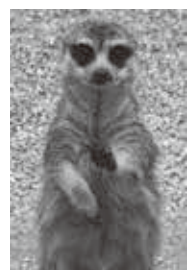
今思い返しても、本当に苦勞の連続でした。県大会で最優

秀賞を頂いて、私達はそれぞれ大きなものを得ました。

厳しい練習にも耐えるだけの希望を見つけたと思います。部員皆で、一丸となって挑む本番。

答えや結果が欲しいんじゃない。私は、この仲間達と、一歩ずつ前に進んでいきたいです。

野口 千香子

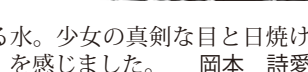


この写真は福山動物園で群れを大事にするミーヤキヤットを撮影したものです。

この作品のテーマは「きずな」です。人と人のつながりは適度な間合いによって保たれます。近すぎず離れすぎず、笑顔で交流することを擬人化してみました。一見拒絶を表す左手(前足?)も相手を思いやる気持ちが込められています。相手への優しさが笑顔と目の光で伝わればと思います。植田 結花

### 写真部

この作品のテーマは「夏」と「水」です。夏真っ盛りに喉の渇きをいやそうと、湧き上がる水に夢中で顔を近づけている少女の横顔の愛くるしさに思わずシャッターを切りました。顔を近づければ近づけるほど顔いっぱい口いっぱいに広がる水。少女の真剣な目と日焼けした肌に、「生命感」と「未来」を感じました。岡本 詩愛



### 珠算部 全国大会報告

私たち珠算部は全国大会出場を目指し、日々活動しています。6月に行われた全国大会予選会で珠算の部個人で「第68回全国高等学校ビジネス計算競技大会」への出場権を獲得しました。全国大会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各県開催となってしまいました。全国大会当日は落ち着いて

### 珠算部部長 宮崎 莉子

いつも通りの力を発揮することができました。来年度は「全国大会団体出場」を目標に今後も練習を頑張っていきます。今後も応援よろしくお祈りします。



**書道部** 第1回全国高等学校書道パフォーマンスグランプリ出場に向けて  
書道部部长 2年 高倉 彩加

私たち書道部は、今回1月23日(日)にイオンモール幕張新都心で開催される決勝大会に出場させていただきます。全国を夢見て頑張ってきた私たちにとって、今回の出場決定は本当に嬉しいです。

今回私たちが取り組むのは、岡山を拠点に活躍されている世界三大サーカスの一つ「木下大サーカス」です。いかなる時にも最高のパフォーマンスで「夢と感動そして希望」を届け続けられている姿勢は、私たちの憧れです。どこまでその世界観を出せるかどうか分かりませんが、コロナ禍の今だからこそ、書道パフォーマンスを通して「夢と希望」「勇気」「笑顔」を届けたいと考えています。いい結果を残して支えてくださる全ての方々へ恩返しができるといいなと思っています。応援よろしくをお願いします。



**コンピュータ部** 全国大会出場  
コンピュータ部部长 野田 龍哉

私たちコンピュータ部は全国大会を目指し日々練習に励んでいます。

平成28年から連続で出場しており、過去には団体で5位に入賞したこともあります。

今年も県大会で優勝し全国高等学校情報処理競技大会に出場することができました。

全国大会ではコンピュータ関連の用語・データベース・表計算・アルゴリズムの内容が出題され知識を問われます。今年も例年以上に難しく入賞を逃してしまいましたが、次の大会では上位入賞できるように頑張りますので応援よろしくをお願いします。



**「コロナ禍」における部活動…運動部**

**ボート部** 主な成績 2年度全国選抜大会  
女子舵手付きクォドルプル3位、  
インターハイ ベスト12 (男女とも)

男子13名、女子17名の計30名で活動しています。インターハイは徐々に男女揃って舵手付きクォドルプルに出場し決勝進出を目指しましたが準決勝で敗退し、ベスト12でした。昨年度末に行われた全国選抜大会では女子舵手付きクォドルプルで3位に入賞できたので、今年度出場する同種目とダブルスカルでは、少しでも近づけるよう頑張りたいです。



**卓球部** 主な成績  
全国選抜大会：女子シングルス出場  
県 総 体：学校対抗戦 女子3位 男子6位  
中 国 大 会：女子学校対抗戦 ベスト16  
女子シングルス ベスト32  
女子ダブルス ベスト16  
県 新 人 大 会：学校対抗戦 男子5位・女子5位  
(女子は全国選抜中国予選会出場権獲得)

現在、卓球部は男子12名、女子8名で活動しています。目標は男女ともに中国大会や全国大会出場することです。日々の練習では課題練習と実戦的な練習を繰り返して、それぞれの課題克服に取り組んでいます。支えて下さっている方々への感謝の気持ちを忘れずに練習を頑張ります。そして先輩方から受け継いだ卓球部の伝統を次に繋げていけるようにしたいです。



**陸上競技部** 主な成績 中国大会・中国駅伝 (男女) 出場

男子26名、女子25名、マネージャー8名、計59名で活動しています。今年度シーズン前半は女子リレー種目や複数の個人種目で中国大会へ出場したもののインターハイ出場を逃しました。シーズン後半では中国新人大会で複数入賞や駅伝で2年連続男女中国大会出場を果たすなど好成績をおさめ、来年度に期待できる活躍をしました。

**男子バスケットボール部**

近年の低迷からの脱出を目指して努力を重ねておりますが、昨年の新人戦以降、県大会出場は実現していません。コロナ禍による緊急事態宣言を受け、倉商定期戦も中止となり、三年生は昨年に続き、不完全燃焼のままでの引退となってしまいました。新チームは来年度の復活に向けて、日々の練習に取り組んでいます。

**バドミントン部** 主な成績 男子：県ベスト8  
女子：県ベスト16

男子23名、女子10名で活動をしています。今年度は地区総体で男女ともに2位となり、県総体で男子がベスト8に入ることができました。しかし、秋季大会では目標としていた男子ベスト4、女子ベスト8が達成できず、課題が残りました。環境的に厳しい中、日々の努力を怠らず、来年度は目標を達成できるように精進します。

**野球部** 主な成績 春季県大会ベスト8・夏選手権ベスト16  
秋季県大会ベスト4・一年生大会優秀校

選手53名、マネージャー6名、計59名で活動しています。今年度は、春季県大会でベスト8となり、シード校として夏の選手権に臨むこととなりましたが3回戦で敗退し悔しい思いを経験しました。その悔しさを糧に、秋季県大会ベスト4、1年生大会では優秀校になるなど好成績をおさめ、来年度に期待できる活躍をしました。

**女子バスケットボール部** 主な成績 県大会ベスト8

3年生8名、2年生11名、1年生5名、計24名で活動しています。岡山1位、全国大会出場を目標に日々練習に励んでいます。今年度は、インターハイ予選、ウィンターカップ予選ともにベスト8で敗戦しました。戦績を追求するのはもちろん、「人のこころを動かすチーム」を目指して今後も頑張っていきたいと思っています。

**ソフトテニス部** 男子24名、女子42名、計66名で活動しています。今年度、県総体個人戦では女子1ペアが中国大会決定戦まで進み、久しぶりの中国大会出場まであと一歩でした。男女とも中国大会出場を目標に頑張ります。

## 柔道部 主な成績 中国大会出場

男子1名女子3名で活動しています。昨年度は、すべての大会が中止されました。今年度も、女子団体で中国大会出場権を得ましたが、大会は中止となりました。少ない人数ですが、全国大会、中国大会出場、入賞を目標に日々頑張っています。



## 剣道部 主な成績 県新人大会女子団体ベスト8

男子6名、女子7名、計13名で活動しています。今年度は岡山県高等学校総合体育大会剣道大会で女子個人ベスト16、岡山県高等学校新人剣道大会で女子団体ベスト8・女子個人ベスト16という結果を残すことができました。来年度もより一層結果を出せるよう、練習していきます。



## ソフトボール部 主な成績 中国ソフトボール選手権大会 2回戦

現在、部員は13名で活動しています。今年は春季県大会を勝ち上がり、中国大会に出場したものの2回戦止まりであり課題を持ち帰りました。その後は県大会3位の結果を残せたものの満足はできていません。来年度も岡山県頂点を目指して、日々「やればできる。必ずできる。絶対できる。」の意欲を持って精進し続けます。



## 女子バレーボール部

|      |         |           |
|------|---------|-----------|
| 主な成績 | 県新人：準優勝 | 中国新人：初戦敗退 |
|      | 県春季：第3位 | 中国大会：中止   |
|      | 県総体：準優勝 | 選手権：ベスト8  |

選手28名、外部指導員を含めたスタッフ3名、計31名で活動しています。今年度前半は準優勝を2度経験し、悔しい思いをしたもののごたえを感じていました。しかし選手権ではベスト8という結果になってしまいました。来年度は岡山県で優勝を目指して頑張ります。



## 男子バレーボール部

|      |         |          |
|------|---------|----------|
| 主な成績 | 県新人：優勝  | 中国新人：準優勝 |
|      | 県春季：優勝  | 中国大会：中止  |
|      | 県総体：準優勝 | 選手権：準優勝  |

選手22名、スタッフ2名、計24名で活動しています。今年度は中国新人準優勝するなど好スタートを切りましたが、インターハイ・春高を逃してしまいました。インターハイから3年、春高から2年遠ざかっています。来年度は岡山県タイトル全制覇、インターハイベスト8以上、春高ベスト4以上を目指して頑張ります。



## 男子バレーボール部 創部100年の歩み

日本のバレーボール史は

1908年、岡山市出身の大森兵蔵がアメリカより日本へ伝え、  
 1920年、山崎鉄雄先生が神戸YMCAより岡山へ伝え、  
 1922年、岡山県商に山崎鉄雄先生が体育教師として赴任、バレーを教え始め、  
**1923年、正式創部**（全国的にも顕著に早い）  
 「バレーの盛んな広島県で戦前の黄金時代を築いた広島二中（現、観音高校）より早い。」

### 【戦績】（詳細はHPご参照）

（山崎鉄雄先生 — 松田金三郎先生 — 南石真作先生等、今は亡き先生方から繋がる熱心な指導で）

（戦前）全国優勝2回 準優勝1回 3位1回

（戦後）国体準優勝3回 インターハイ3位—2回

全国大会出場回数は100回を超え、全国へ誇る有望選手も多数輩出し（今年、東京学芸大卒、小野翔平がVリーガーに）伝統と強さを保っており、未曾有のコロナ禍に加え、現役世代は、中学校バレーボール部の減少（岡山市8校のみ）で選手の確保に苦労しながらも、「常勝東商！」と頑張っております。

同窓会会員の皆様には2023年の開催を予定しています**100周年記念事業**（記念式典、試合、記念誌創刊、等）へのご支援、ご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。



初代OB会長  
河野 通泰寿 さん  
（一商43期）

（東商26期）小山 茂



## (第46回)東商同窓ゴルフ大会

コロナ感染対策の一環として、参加者の密を避ける方法として開会式も表彰式も省略して「ハーフコンペ」という形を取って、岡山御津カントリーにて参加者82名(うち:女性4名)で開催しました。

out・inスタートの午前ラウンドのみのコンペ対象という新しい試みで行い、結果は次の通りでした。

【個人】優勝:和田 康(17期)  
準優勝:川野純一(20期)  
3位:安井連三(20期)

【団体】優勝:20期  
準優勝:22期  
3位:24期

20期は前回に続いて連続優勝ですので次回の幹事は22期という事になりました。

来年も沢山の方々の参加をお待ちしていますので、お誘い合わせのうえ、奮ってご参加ください。

尚:参加賞には(東商オリジナル商品)である、ポン酢・焼肉のたれセットが贈呈されました。

## 関東翠光会 「中止」

東日本地区同窓会各位も、母校の伝統を胸に「誠実・質素・勤勉」を日々思い起こし頑張っております。

昨年の第8号会報にてご紹介致しました、東日本地区同窓会(関東翠光会)の開催に向けて開催を準備し参加者90名弱の参加回答を戴きましたが残念ながらコロナ感染防止を最優先に考慮し延期を決定しました。

されど、コロナ禍の終息が見えない中でも徐々に日常の生活を戻しつつある現状につき本年5月の良き日を選び開催する予定です。

東日本各地で頑張っておられる同窓生各位のご参加を仰いで、関東の地に郷里母校の校歌「ペンと桜の誓いを胸に」を高らかに歌いたく思います。

## 近畿支部 「総会中止」

一昨年に続いて、昨年3月に予定していましたがコロナ感染拡大の最中でしたので密な会合を避けるために誠に残念ながら「開催中止」としました。

年一回の先輩や後輩との顔合わせの場と、同窓会の絆を深めるためにも今年こそは3年ぶりに近畿地区の皆さんとお会いして、母校の近況報告と共に母校の話で大いに盛り上がりたと思います。4月以降での開催になる予定ですが新しい方も参加していただいて同窓会の輪を広げるべく役員一同奮起して参りますので是非ともご参加いただけます様よろしくお祈りいたします。

## 数原 晋さん(16期)逝去される

国内のトランペット奏者で有名な、数原さんが令和3年4月に逝去されました。(74才)

歌謡曲からアニメまで幅広いジャンルで活躍され、代表曲では(必殺仕掛人のテーマ)や(いい日旅立ち)(天空の城ラピュタ)などがあります。母校を卒業後も音楽への思いが断ち切れず国立音大に進んで、SMAPや松任谷由実などのレコーディングにも参加されて音楽業界に多大なる実績を残されました。母校への協力も惜しみなく尽力いただき、定期演奏会への参加や平成24年(第112回)同窓会総会に参加いただき演奏をご披露いただきました事が偲ばれます。ここにご冥福をお祈りいたします。(合掌)

## 編集後記

2年連続のコロナ禍で世の中の様相がすっかり変わってしまいましたが、ワクチン接種も進んで少し収まりつつある方向に向かっているのは明るい傾向です。しかし油断禁物であり終息するまでは辛抱して気を緩めることなく感染防止対策としての行動には引き続き注意を払わなければなりません。同時にコロナ以前の生活が平凡であろうとも如何にありがたく平和であるかということを改めて教えられた様に痛感しているところです。同窓会活動も制約してきたので、各期の同窓会開催のニュースも入って来ませんでした!我々も皆さんとの交流の機会もほとんどなく本当に味気ない感じが続いていました。学校行事の中でも花形と言っていい倉商定期戦も2年連続の中止となり、定期戦を経験しないままで東商生活を送ることになる生徒達がいることは残念でなりません。当然、同窓会のメイン行事である同窓会総会も2年連続の中止としましたが、今年こそは開催して同窓会の賑やかさと感動を皆さんと共に味わいたと思います。そして久しく(?)歌っていない「翠の光…」の校歌を高らかに歌い昔話に華を咲かせると同時に、来年度から学校行事として本格的に動き始める「クラブハウス(部室)整備プロジェクト」についての話題などの情報交流も活発化させて、母校の支援も盛り上げて行きたいと思えます。何とかコロナ以前の生活が戻って来ることを待ち望みつつ、6月の第122回総会が開催される時には同窓生の皆さんをお誘い合わせのうえ、多数のご参加をいただけます様宜しくお願い申し上げます。

事務局 元宗三好(25期)

## 第122回同窓会総会開催のご案内(予定)

日時:令和4年6月19日(日)  
16時~18時  
場所:岡山プラザホテル

※新型コロナウイルスの状況により中止する場合がありますのでご了承ください。



→表紙面より

昨年（令和3年度）は4月に30名を超える新入部員を迎えました。1学年に30名を超える部員が入部することは久しぶりでしたが、これもコロナ1年目の活動を当時の3年生（72期15名）を中心とした50名の部員たちが素晴らしい演奏でアピール出来た賜物だと思います。

総勢65名で活動した令和3年度は緊急事態宣言が解除された6月に市民文化ホールにて「ファーストコンサート2021」を完全無観客（保護者へはLIVE配信とDVD配布）で開催しました。1年生は初舞台となり、部の一員として仲間入り出来た貴重な行事でした。

8月には前年は中止になった「吹奏楽コンクール」へ出場。県大会へ出場するための「予選会」を上位の成績で通過し、本番の県大会では見事に「金賞」を頂くことが出来ました。

しかし、吹奏楽コンクールが終わった直後からコロナ第5波の影響が顕著になり9月に行われる「マーチングコンテスト」への練習が全く進まない状況のなか、無観客開催のコンテスト本番では部員たちの頑張りにより「岡山県代表」になり、中国大会へ進出（中国大会は銀賞）、3年ぶりの出場で全員がマーチング初心者の部員たちにとってはこの経験がとても良い経験となったと思います。

第5波の影響は厳しく、夏から秋にかけて本来行われる予定であった演奏会や行事は尽く中止になりますが「部員の演奏機会を減らしたくない」という顧問の藤原一樹先生の気持ちに部員たちが応え、感染状況を注視しながら近隣の小学生への演奏会や県内高校吹奏楽部有志によるオリジナルのコンサートなど「東商吹奏楽部だから出来る事」を部員たちが考え、精力的に行うことでこの状況下でも充実した活動を行っていたと思います。

また、演奏活動以外でも短期、日帰りで「合宿」など部内行事を行い、コミュニケーションを目的としたレクリエーションを中心に「楽しく活動」する素晴らしい部活動になっていると思います。

令和3年度の3年生（73期18名）が第57回定期演奏会で引退。現在は2年生以下47名で春に新1年生を迎えるのを楽しみにしています。

最後に東商吹奏楽部の歴史と伝統を伝えてきた「定期演奏会」について、この57年続く東商吹奏楽部の定期演奏会は日本全国を探してもスクールバンドの歴史としてはとても稀で伝統のあるものになります。日本最古の明治39年に創部された音楽部から数えること115年。昭和に入り現代の吹奏楽となり、昭和40年度に高原景介先生ご指導の下第1回定期演奏会が行われてから半世紀を超え、星島明郎先生、山縣武之先生、昭和から平成で谷口一夫先生、石原憲先生、佐藤量太郎先生、森口麻里先生とその時々先生と部員たちが一生懸命活動して繋いできたこの伝統を令和になった現在も藤原先生と現役の部員たちが常に「チャレンジ」をしながら進化を目指してくれていることにOBとして感謝の気持ちで一杯です。3年後には節目の第60回定期演奏会、そして5年後には創部120周年を迎える東商吹奏楽部の益々の応援を同窓生の皆様にも宜しく願っています。

（写真・文：  
吹奏楽部39期OB 野口慎一郎）

